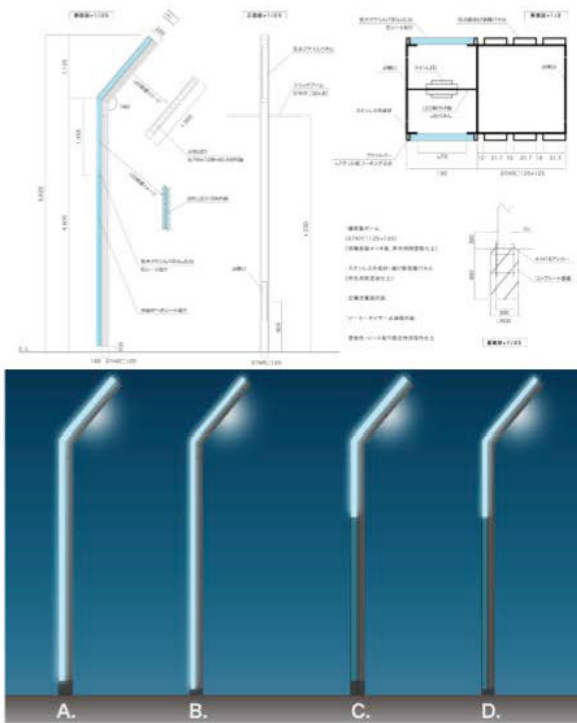


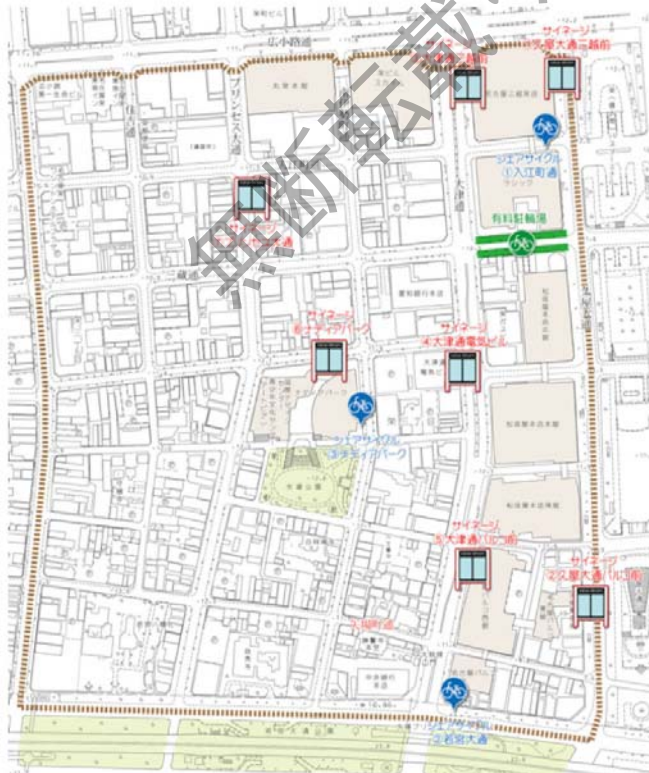
2013年、一本の街路灯の実現から

※商店街が**所有・管理**する街路灯





3つの社会実験の実施場所



計画・調査検証：名古屋工業大学 伊藤孝紀研究室

2016年よりスタート！

デジタルサイネージ 7箇所

4月
より開始

- ①久屋大通三越前
- ②久屋大通パルコ前
- ③大津通三越前
- ④大津通電気ビル前
- ⑤大津通パルコ前
- ⑥ナディアパーク
- ⑦プリンセス大通

有料駐輪場 1箇所

7月
より開始

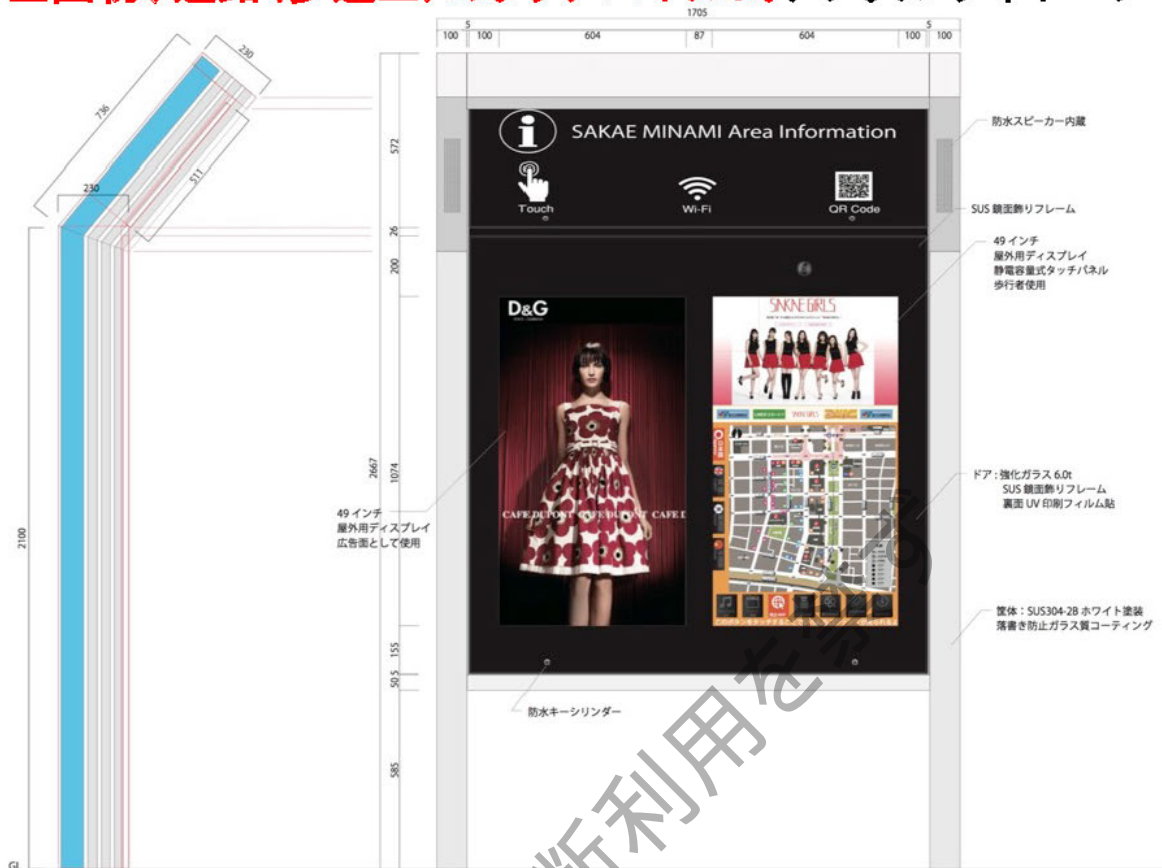
- ①三蔵通（大津通～久屋大通間）

シェアサイクル 3箇所

10月
より開始

- ①栄ステーション（入江町通）
- ②ナディアパークステーション
- ③矢場町ステーション（若宮大通）

全国初、道路(歩道上)のタッチパネル式デジタルサイネージ



デジタルサイネージ



広告面

販わいにつながる
屋外広告の販売

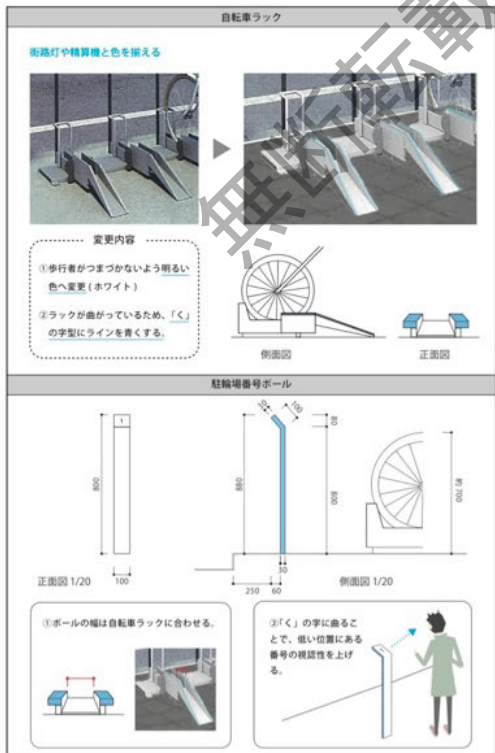
まちづくりを進める
大切な資金源にも!!

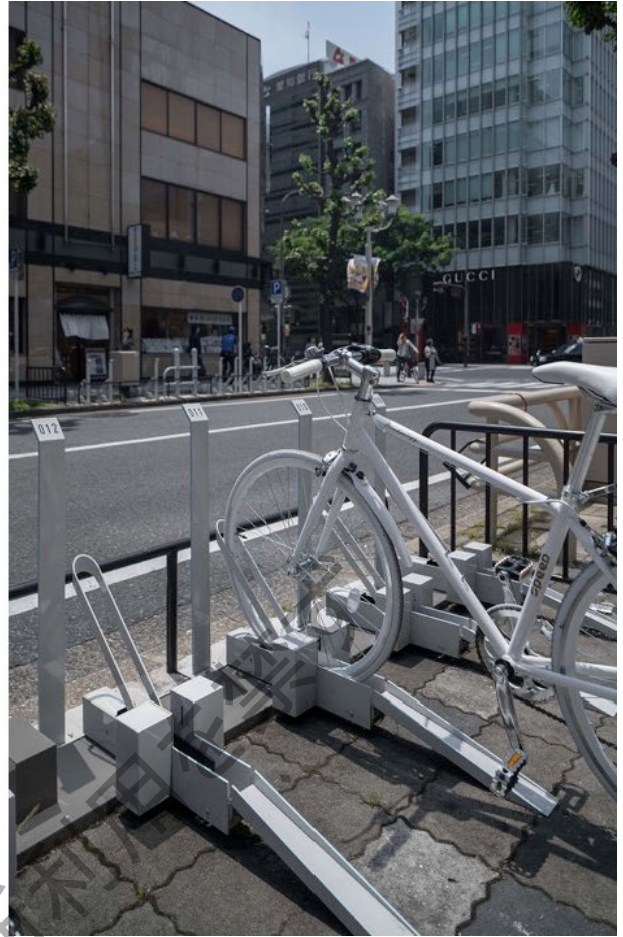
地域情報面

1ヵ月1台平均
1~1.4万回タッチ

サイネージとまちを
つなぐ情報発信!!

全国初、駐輪禁止地区の無指定、有料駐輪システムの導入





有料駐輪場

将来の**栄ミナミの駐輪の姿**を伝えるため、**デザイン**と**使いやすさ**にこだわり

まちのデザインを精算機に反映
通りの形状・通りのカラーリング

自転車駐輪

1日100円。
暗証番号をかければ
防犯性も向上。



原付駐輪

1日200円。
原付(50cc)未満対象。
車道から出入り可。



東海初、シェアサイクルシステムの導入！

交通系ICカードによる個人認証と決済が可能



シェアサイクル (つづき)

会員登録



- ①キオスクのパネルで
新規登録をタッチ
- ②**必要情報**を入力
・名前 ・電話番号、
・メールアドレス、
・支払方法を
- ③個人認証用の
ICカードを登録



借りる時

- ①「**自転車**を借りる」をタッチ
- ②借りる**自転車**の
番号を選択
- ③基本料金を
支払う
- ④キオスクから
鍵を取りだす



返す時

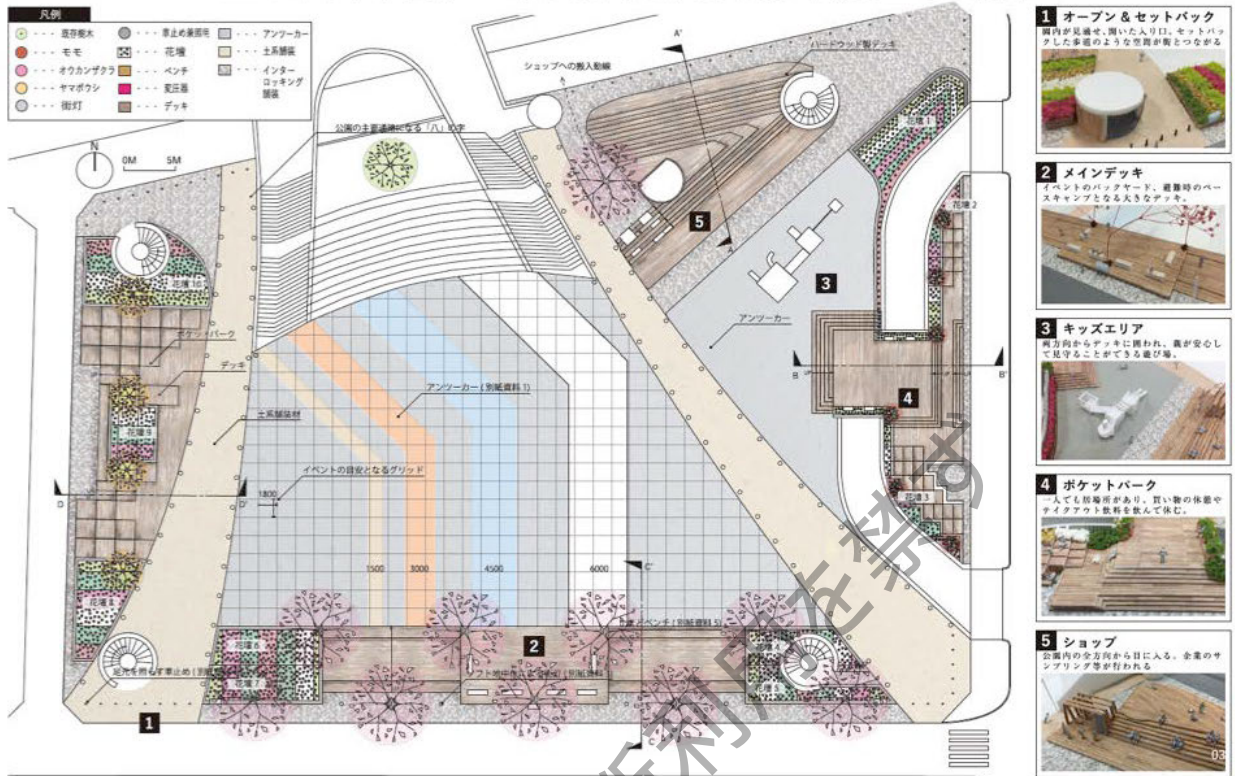
- ①ラックに自転車をとめ**鍵**を掛ける
- ②「**返却・支払い**をする」をタッチ
- ③超過した分の追加料金を**支払う**

矢場公園 リニューアル計画



雨天時の土壌地面、周囲に閉鎖された生け垣、収益と防災機能など多くの課題

シンボリックな通路とつながる、街に大きく開いた賑わいある公園



ISEMACHI PARKLET 2017 (南伊勢町パークレット)

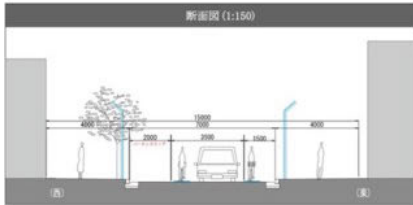
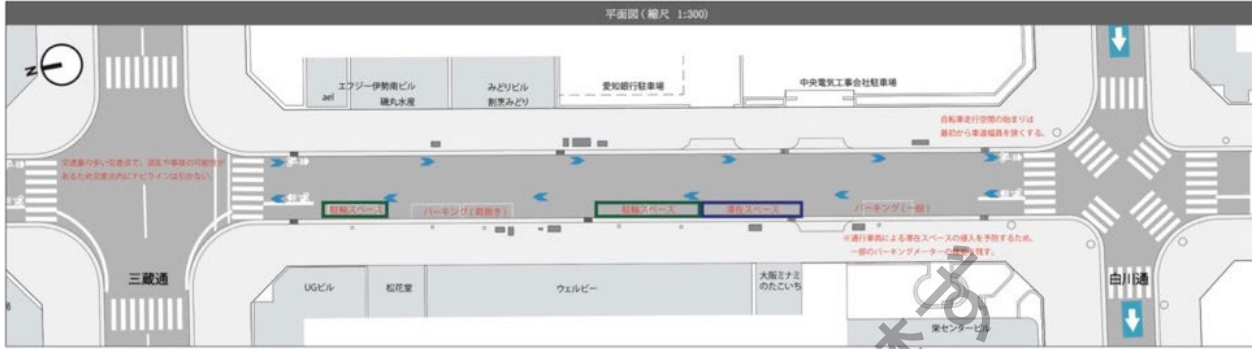
全国初、車道上(時間制限駐車場区間)を利用したパークレット



自転車走行(矢羽根)と車道駐輪場

概要

日時 10月中旬～11月中旬
 範囲 三蔵通交差点～白川通交差点
 距離 1区画およそ70m
 目的 歩車分離と路上空間活用を実施し、街路計画の課題を把握する。



スケジュール(予定)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
エリマキ協議会		審議	協議会			
NAQO1グランプリ			審議	協議会	法人化	
新ネコ交						
社会実験協議会		(臨時)伊勢線:コアメンバー				
社会実験実施協定		企画書策定		実施協定		
警察協議		(臨時)中警協協議				社会実験
地元調整				協議合意		
道路工事						
PR活動				工事開始	社会実験開始	



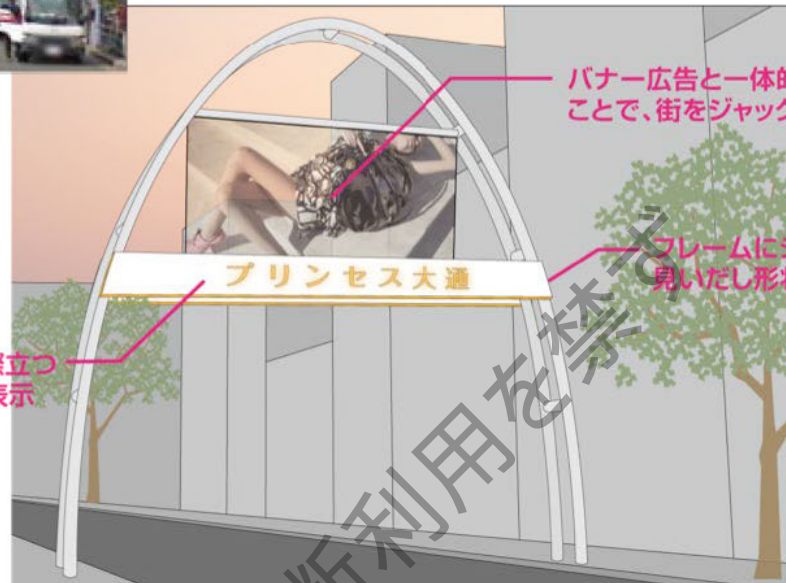


プリンセス大通 アーケード広告





プリンセス大通の新たな広告塔



全国初、道路(車道上)に広告を掲出する社会実験を実施

栄から名駅へ桜並木



二蔵通の歩道に植樹された桜。いずれも名古屋・栄

商店街など構想

名古屋・栄の商店街が中心となって、栄に桜並木を整備し始めた。にぎわいつくりにつながる狙いで、将来は名古屋駅地区までを桜並木でつなぐ構想を描く。名古屋では、リア中央幹線開業に向けて高層ビル建設ラッシュに沸く名駅地区に話題を奪われがちだが、百貨店や専門店が幅広い店が集まる栄らしく、歩いて楽しいまちの魅力アップを目指す。

■第1弾を植樹
二蔵通に約五百本を植える構想だ。栄の南大津町内会やプリンセス大通り商店街協同組合、住吉町二丁目町内会など十一団体の代表者がつくる「栄ミナミ桜を育てる会」が進めている。桜並木を整備するのは、広小路通の南にある三蔵通。栄から名駅までほぼ真つすで、車道が狭く歩きやすい通りとして選んだ。松坂屋名古屋店や名古屋三蔵栄店の並ぶ長大通から、名駅地区まで



プリンセス大通りのアーチに設置された看板広告

名古屋・栄の桜並木整備で財源となったのが、通りのアーチに設置された看板広告だ。昨年秋にアーチを大規模補修する際、地元商店街を名古屋市や警察に相談した上で広告を掲げられるようになった。

商店街と一緒に取り組んだ伊藤孝紀名古屋工業大准教授は「安定した収入を得て、まっつくり投資できる仕組みができた。車が走る公道の真上に広告を掲げるのは全国的に珍しい」と話す。このアーチは栄のプリンセス大通りに三本あり、老朽化して地元商店街もかつて撤去を検討した。

「歩いて楽しく」
この後は、さらに西へと延ばすことを目指す。交通のある緑地帯の企業やまちづくり団体に協力を呼びかけているほか、今後は栄の名駅の間を流れる堀川一帯として二月下旬、付近の町内会などにも協力を呼びかける。三蔵通のほか、伊勢町通も計画されている。

撤去や桜の植え込みを含め、二百万円強を地元の商店街が負担した。各地区の商店街などがサクラの木を市に寄贈する形で、三年ほどで栄地区の五百本に植える予定だ。

アーチ広告で資金

見直しを取り、数百万円が必要と判明し、補修して使い続けることにした。見直しは良くなったが、二千六百万円かかった。商店街の財源を回復できないから、アーチに広告を掲げるとを検討。

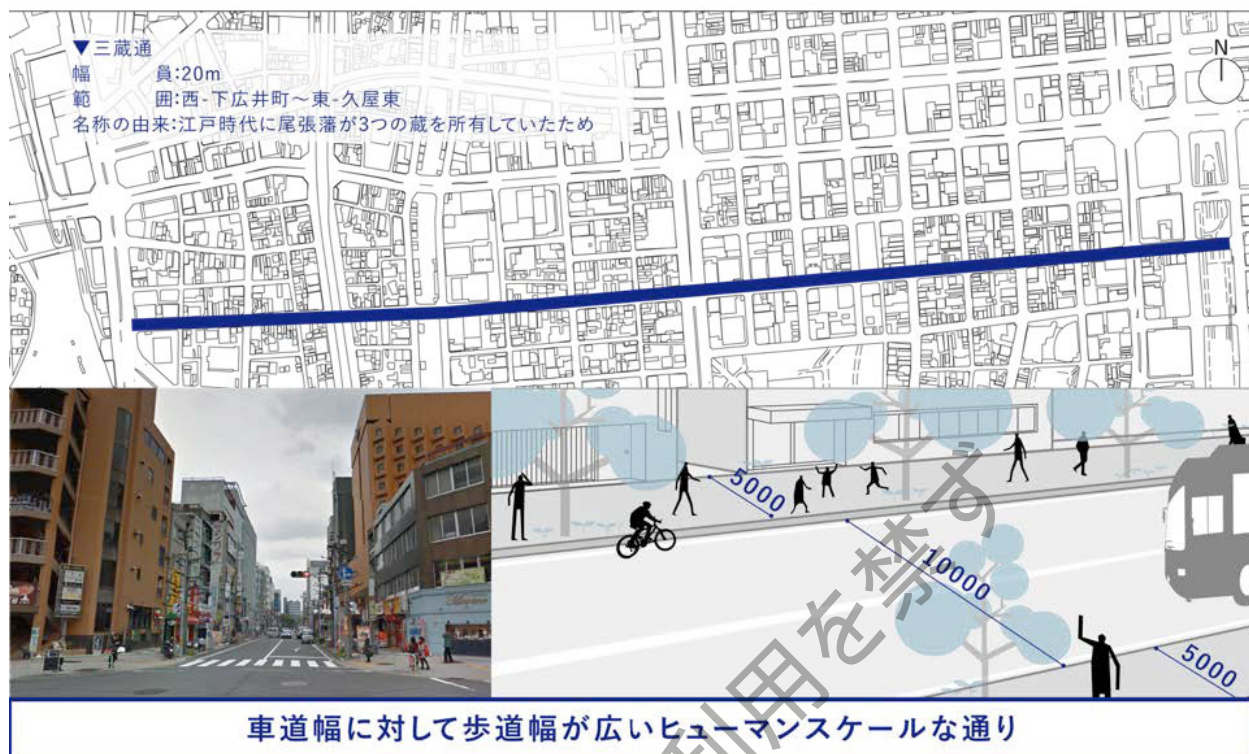
名古屋市中書に相談したところ、高さ十メートルあるアーチ上部の問題ないと分かった。商店街の白濁正理事は「長年、桜並木の整備以外にも、冬のイルミネーションを豪華にするなど、にぎわいつくりに使ってきたい」と話している。

10 名古屋駅地区と栄ミナミ地区をつなぐ都心軸



参考：名駅南地区まちづくり研究会

11 東西に一直線な三蔵通



12 周辺地区の既存コンテンツとの連携



大規模再開発とリノベーションのハイブリッド！



NAGOYA クリエイティブ構想

名駅地区と栄地区の連携した三蔵通りの計画
クリエイティブ産業を牽引する軸線づくり

NAGOYA 創造協議会
NAGOYA クリエイティブ構想
NAGOYA 創造協議会提言書を発表する名古屋工業大の伊藤孝紀准教授＝昭和区の同大で

名駅、栄連携強化を
名工大でフォーラム「三蔵通に注目」

名古屋で街づくりに取り組み有志らでつくる団体が十四日、昭和区の名古屋工業大でフォーラムを開き、リニア中央新幹線の開業を見据えた活性化策を発表した。名古屋駅と栄地区の結び付きを強化するため、三蔵通にスポットを当て、街づくりを呼び掛けた。団体は「NAGOYA 創造協議会」で、名古屋駅地区街づくり協議会、歩道が五つで歩きやすい。歩いて楽しい連盟の幹部ら十人で構成する。

三蔵通は広小路通の南にある通り。名駅地区と栄地区を直線で結び、他のメインストリートより車道が狭いことから歩行者に優しい通りとして着目。来年以降、桜を植えるなどイメージアップを図っていく。

フォーラムでは、メソンの伊藤孝紀名工大准教授が「名駅と栄は対立軸で捉えられがちだが、名古屋の発展を思えば一緒にやっていくべきだ」と訴えた。

「三蔵通は車道が十メートル、歩道が五メートル、西野さんは「三蔵通は何もなく無個性。知らない人も多いので、どこにあるから始めた方がいい」と助言した。（藤嶋崇）

NAGOYA 創造協議会

NAGOYAクリエイティブフォーラムの実施

NAGOYA クリエイティブフォーラム 2015



ゲスト：西野達氏、太刀川英輔氏

NAGOYA クリエイティブフォーラム 2017



ゲスト：馬場正尊氏

「クリエイティブ」をテーマに、三蔵通を中心に名古屋の未来を議論

都市政策と産業政策のハイブリッド！

名駅・栄をつなぐ新たな都心軸三蔵通へクリエイティブ産業を誘導する政策提案

□クリエイティブな三蔵通を形成する官民の連携

【NAGOYA 創造協議会の役割】

■エリアリノベーションによるまちづくりに関する考察※

- ・エリアリノベーションの成功事例を分析すると、右記の4つのキャラクターが存在している (例) 東京駅前・日本橋
- ・4つのキャラクターによる多様なネットワーク型のフラットソサエティが形成され、各人が本業の合間を縫って活動している
- ・IP・マップ・メーリングリストを活用した積極的な情報提供

■三蔵通エリアリノベーションを推進するための方策

1. NAGOYA 創造協議会による4つのキャラクターの発掘
2. 4つのキャラクターによる、先行した事業者手
3. 行政に規制緩和等の産業政策を検討・整備頂くよう要請 → 行政による支援

※「名古屋で変える三蔵通」を想定し、ALL 名古屋プレイヤーを登録して配置することが、シビックプライドの醸成から見ても理想と考えられる。

※ 馬場正尊氏との対談及び書籍「エリアリノベーション」p.71を参考に作成

□政策の具体例と三蔵通での取り組み

【政策の具体例】

【都市政策】	【産業政策】
<p>1. リノベーション誘導施策</p> <p>(1) 工事に関する規制緩和 建物の一部改修時において法令適合範囲を当該部分のみへ緩和</p> <p>(2) 用途変更に関する規制緩和 建築確認申請を要さない規模を100㎡から1000㎡へ緩和</p> <p>(3) 既存不適格調書の柔軟な運用 建築確認済書及び検査済証の提示ではなく、名古屋市がチェックシートを作成</p> <p>(4) 建物に関する資金支援 事業者側者に対して、金融機関が融資を行う場合に国から利子補給金を支給</p> <p>(5) 非木造住宅の新築助産・耐震改修に対する助成制度の拡大 リノベーションを機会に非木造住宅(S造・RC造)への耐震改修を促進</p> <p>(6) 相談窓口・手続きの一元化 建築都市局・建築審査課・保健所消防局・指導課への問合せを一元化するサービス産業政策課の設置</p>	<p>2. クリエイティブな公共空間づくり</p> <p>(1) オケッパークの整備 通り沿いに整備を進めることで、景観の改善や管理不全の空家の除去を誘導</p> <p>(2) 歩道・数寄路の整備 舗装や植栽の整備を充実させ、魅力ある歩行者ネットワークを形成</p> <p>(3) ガイドラインや指針書の作成 エリアの特性やまちづくりの考え方を作成することで、エリアとしての個性を強化</p>
	<p>1. 多様な人材支援 在留資格の取得条件を満たす見込みがある外国人の創業活動を承認</p> <p>2. スタートアップ企業の促進 特定企業及びクリエイティブ関連産業が入居する場合は、賃料を一部補助</p> <p>3. ビジコンテスト支援 認知のものをづくりを加速するようなプレゼンテーション(イベント)の機会を提供</p>

【行政に求める役割】

連携

パッケージ政策

都市政策

産業政策

■都市計画・制度レイヤー

- ・リノベーションを活用したまちづくりを誘導するためのクリエイティブな公共空間づくり
- ・規制緩和などの改革・構築

■産業誘致・誘導レイヤー

- ・新産業の創出、既存産業のイノベーションなどを促すための改革・構築

※ 都市政策と産業政策を合わせた事例はない

クリエイティブ人材を惹きつけるための「産業政策」と魅力的な空間構築のための「都市政策」によるまちづくりの促進

※ 左はP16の点1をきっかけとした、まちづくりの促進によるリノベーションゾーン(※)の形成

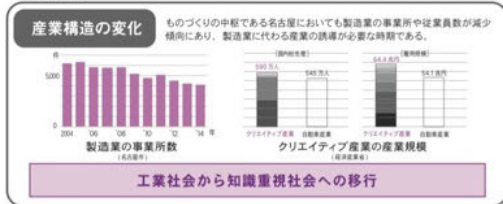
【三蔵クリエイティブゾーンの形成イメージ】



自動車と共存するリノベーション！

自動車産業の拠点・名古屋だからこそ
「自動車」「人」「産業」の共生のあり方

【名古屋の現状】



【駐車場+α】=「クリエイティブ空間」

クリエイティブ人材の活動拠点の創出



全国初、立体駐車場のリノベーション！

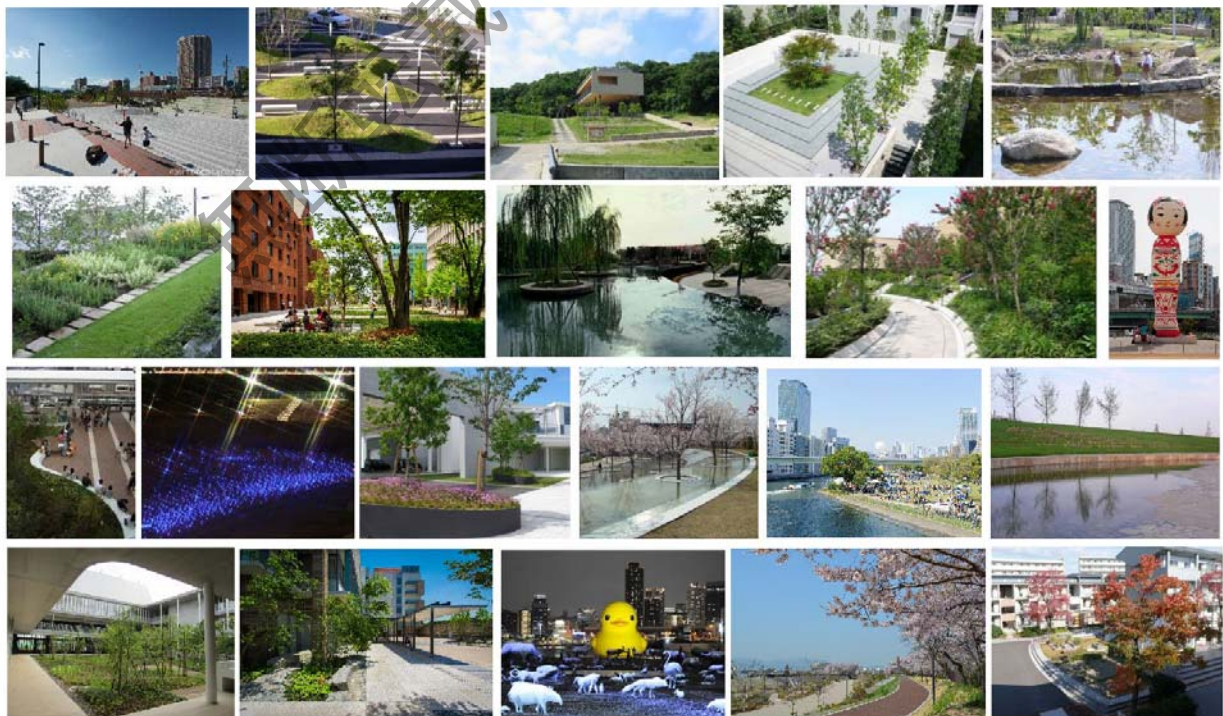


全国エリアマネジメント
ネットワークシンポジウム2018
in Hiroshima

御堂筋を
パーク・ストリートへ

株式会社E-DESIGN 代表取締役
NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会 理事

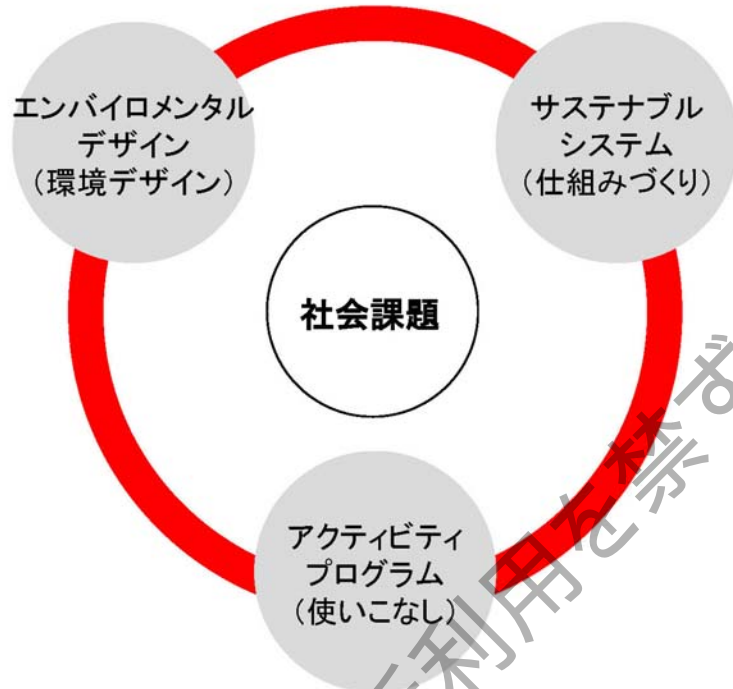
忽那裕樹



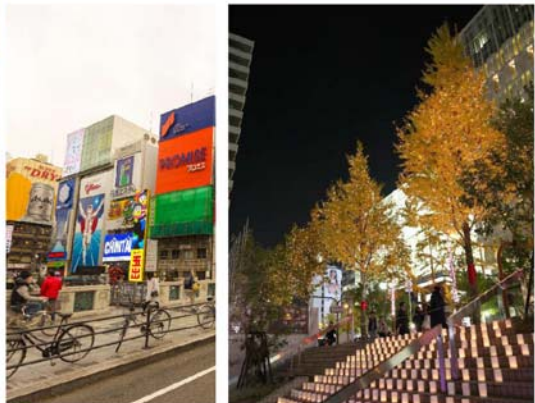
活動のベースとなる「環境の器」をデザイン

活動を支える仕組みづくり

自らのスタイルで、大切な人との時間を豊かにする使いこなし



■大阪の大動脈 “御堂筋”



- JR大阪駅（梅田）と難波を結ぶ
- 幅44m延長4kmの目抜き通り
- 約490本のイチョウ並木

■ 御堂筋の変遷

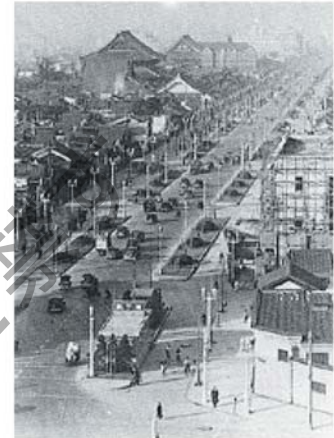
- 大正10年 御堂筋を含む大阪市内24路線を都市計画決定
- 大正15年 御堂筋の工事着手
- 昭和12年 御堂筋完成**
- 昭和33年 御堂筋が国の管理となる
- 昭和45年 一方通行化（大阪万国博覧会開催）**
- 昭和58年 御堂筋パレード開催
- 平成4年 御堂筋彫刻ストリートに着手
- 平成7年 沿道建物高さ制限緩和（50m、壁面後退4m）
- 平成12年 银杏並木が大阪市指定文化財となる
- 平成13年 淀屋橋・大江橋が大阪市指定文化財となる
- 平成17年 御堂筋オープンフェスタ開催
- 平成19年 御堂筋完成70周年記念パレード開催
- 平成20年 大江橋及び淀屋橋が国の重要文化財に指定
御堂筋kappo開催、御堂筋イルミネーション開催
- 平成24年 御堂筋が大阪市管理となる
- 平成29年 御堂筋完成80周年記念事業



関市長



拡幅以前の御堂筋は
道幅6メートル約1.3kmの狭く短い道



幅44メートル、約4kmの道に

大阪市ホームページ「御堂筋の歴史」

■ 大阪市による御堂筋完成80周年記念事業

- 御堂筋完成80周年記念事業推進委員会の設立
- 御堂筋完成80周年記念シンポジウムの開催
- ワークショップの開催
- 沿道まちづくり団体と協働した社会実験の実施



【御堂筋完成80周年記念事業推進委員会】

- 国土交通省近畿地方整備局
- 大阪市
- 公益社団法人関西経済連合会
- 一般社団法人関西経済同友会
- 大阪商工会議所
- 公益財団法人大阪観光局
- NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会
- 御堂筋まちづくりネットワーク
- ミナミまち育てネットワーク
- 一般財団法人都市技術センター



昭和7年頃：地下鉄工事の様子



昭和12年：完成当時の御堂筋



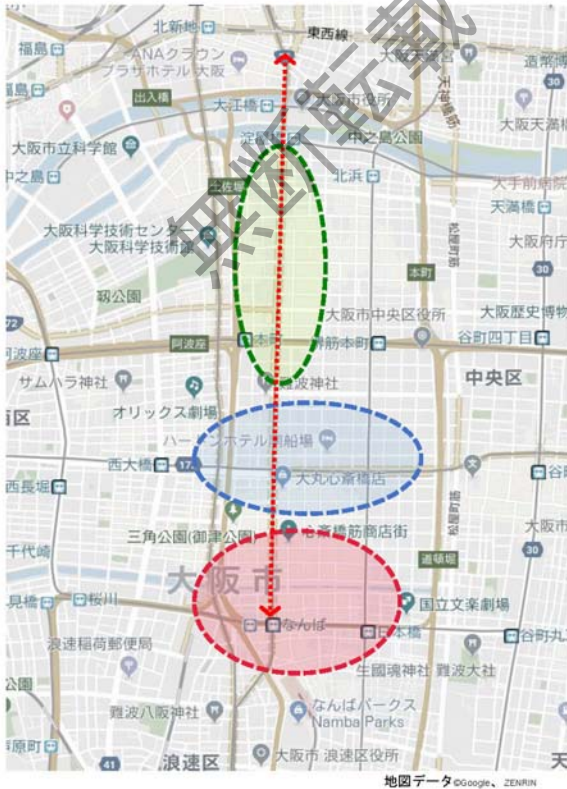
みちからまちを変えていく



御堂筋完成80周年記念事業

世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ。

御堂筋沿道で活動するまちづくり3団体



御堂筋まちづくりネットワーク



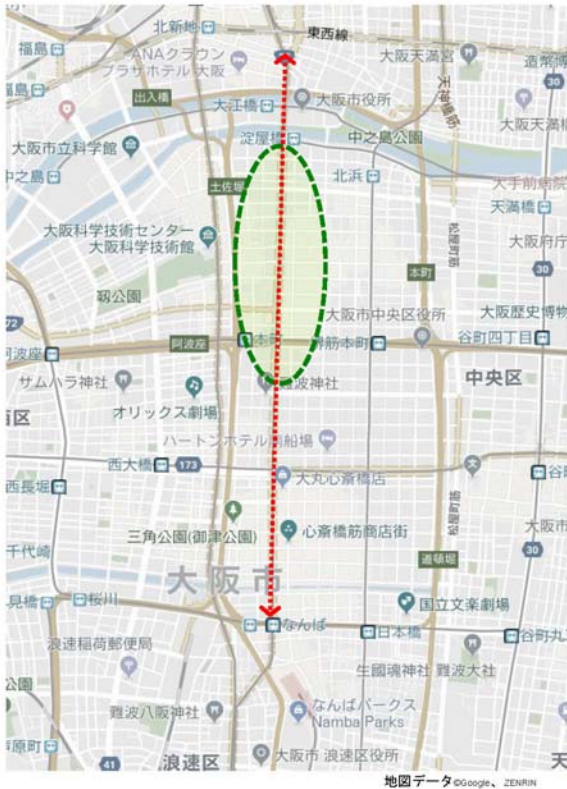
御堂筋・長堀21世紀の会



ミナミまち育てネットワーク



御堂筋まちづくりネットワーク



御堂筋まちづくりネットワーク



一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク 概要

- 有志25団体で2001年12月に設立
- 2017年7月 任意団体から一般社団法人へ移行
- 2018年4月現在 正会員37社、テナント会員7社

(組織体制)



御堂筋完成80周年記念事業における活動報告



1. 実験概要

(一社)御堂筋まちづくりネットワーク
御堂筋パークレット社会実験 事業報告



実施主体: 御堂筋完成80周年記念事業推進委員会

連携団体: 一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク

設置場所: 淀屋橋odona[オドナ] 前歩道

実施期間: 2017年11月20日～2018年5月21日(予定)



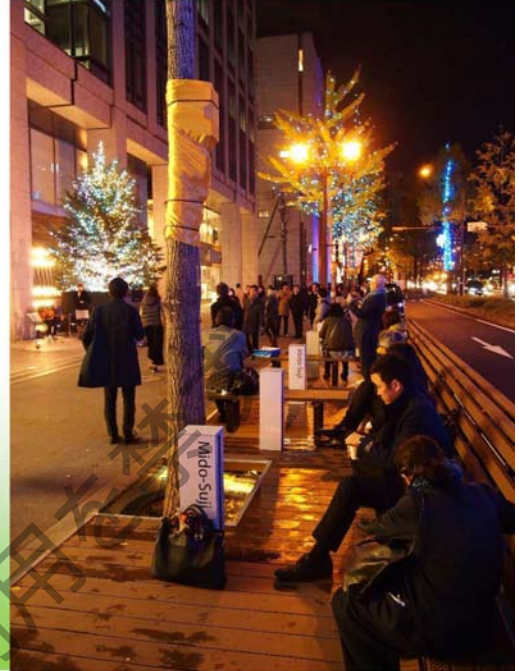


4. 完成

《完成～11月20日オープニングセレモニーの開催～供用開始》



11月20日の供用開始の夜には淀屋橋odona壁面後退部分で、まちかどコンサートを開催。



■ ミナミまち育てネットワーク



■ ミナミまち育てネットワーク



- 2008年（平成20年）12月創設 今年10周年
- 会長 山中 諄（南海電気鉄道株式会社取締役相談役）
- 目的 「観光集客」「文化振興」
国際観光エリアKANSAIのツーリズム拠点
(2012年12月ミナミの未来より)
- 会員 企業、商店街、行政等 約120団体
- 委員会活動（月1回開催）
 - ・企画委員会 学生音楽祭 7回
 - ・街づくり委員会 ベっぴんプロジェクト 5回
 - ・総務委員会 HP、総会等
 主催事業ほか、協賛・後援事業など地域活動と協働
- 成果・実績
 - ・地域との連携、街での存在感
 - ・ミナミのエリアマネジメント団体
 - ・なんば駅前広場化の推進、とんぼりパークの活性化
 - ・防犯パトロール、防災対策

御堂筋80周年を契機に魅力ある滞在空間を検証する

Mido-suji CHALLENGE
御堂筋チャレンジ

2017/11/5(Sun)▶11/20(Mon)

大阪のメインストリート、御堂筋。
完成から80周年、難波駅前のモデル区間では歩道も広げられ、新しい
みちづくりが着々と進められています。御堂筋が、世界にとどろくメイン
ストリートとなる未来のスガタを想像する16日間。
生まれ変わろうとしている御堂筋を体感してください。

御堂筋の未来のスガタをつくる、2週間の社会実験

通行空間から滞在空間へシフトするためのしくみを試す

人びとが集い、憩う居心地の良い空間へ

歩行者が安全、快適に歩けるストリートへ

上質な環境を維持するための運営のしくみづくり

歩道拡張・歩車分離

ファニチャー

ストリートマーケット
戸原橋アップマーケット

ストリート広告
クシオン

環境演出

カフェストリート
英国屋

ストリートライブ
バスカー・うめきた他

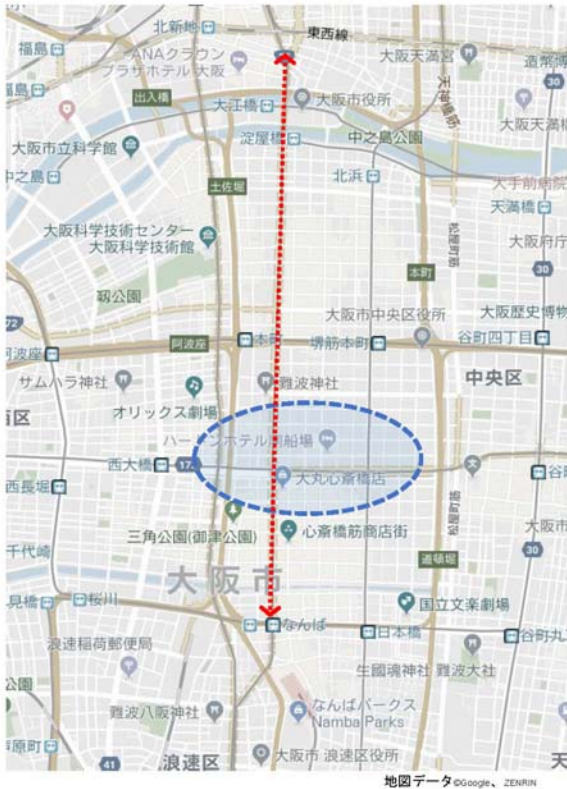
シェアサイクル
HUB chari
H29年度街づくり委員会活動報告

ファニチャーB (固定式)
四周どの方向でも座れる丸井前の広いスペースに設置
座面には人工芝を敷く

ファニチャーC (可動式)
イチョウ並木の間に設置
イベント時に撤去可能
毎日設置と撤去を繰り返す

ファニチャーA (固定式)
歩道に平行な向きに設置
自転車道と歩道の境界の役割
南半分は座面に人工芝を敷く

御堂筋まちづくりネットワーク



御堂筋・長堀21世紀の会



御堂筋・長堀21世紀の会 概要

経緯 1982年「長堀21世紀の会」として
企業33社で発足

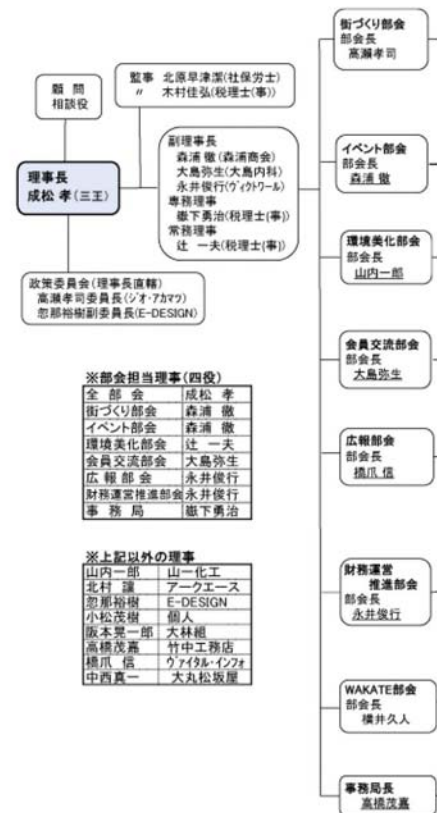
理事長 成松孝

事務所 大阪市中央区東心齋橋1-10-7
市川ビル3階

会員 150社

憲章 「おしゃれな大人の散歩まち
—街づくり憲章」

活動内容 街づくり部会、イベント部会、
環境美化部会など



清掃・環境美化活動

清掃活動

- ・ 30年以上継続、
- ・ 月2回、毎回50人が参加

迷惑駐車防止キャンペーン



イベント・交流活動

御堂筋を活動したイベント活動

会員交流活動



街づくり活動

街づくり会議

ブランド会議

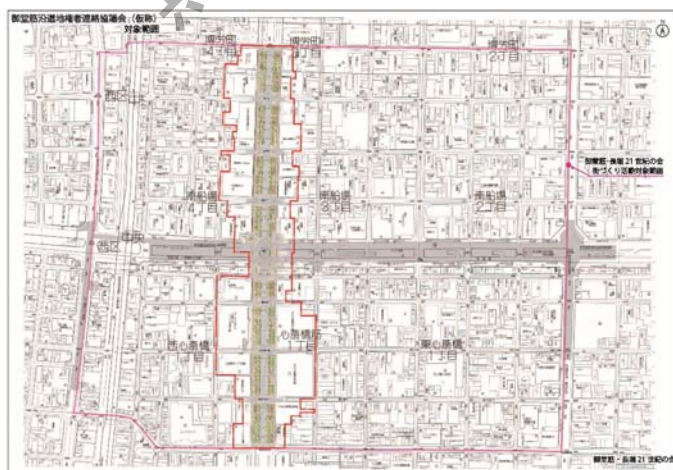


大阪版BID と 地権者連絡協議会の設立

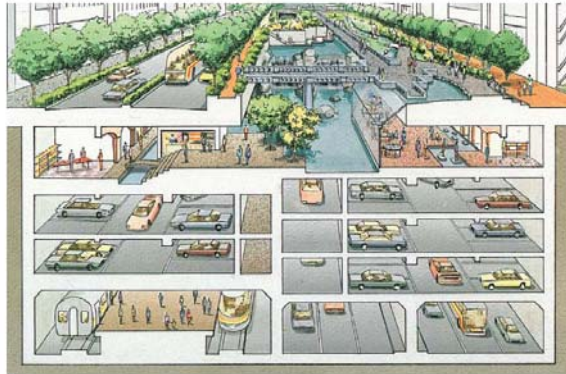
大阪版BIDを目指し、御堂筋沿道・周辺地権者つながりを形成

参加地権者数：28名

エリマネ勉強会、懇親会を実施



長堀エリアの街づくり



1992年の提案

オシャレな大人の散歩街
道路からの都市再生



“おしゃれな大人の散歩まち”を目指して

■ 将来像検討に必要な視点

御堂筋エリアの将来ビジョンについてこれまで様々な検討がされており、共通点は

「世界に誇る御堂筋の創造」

グランドデザイン・大阪

【大阪の都心の顔としての魅力・集客力を活かす】

- ・景観のルールづくり、居住機能の充実
- ・近代建築、歴史的建築物の活用
- ・全面みどり化（長期的目標）

グランドデザイン・大阪推進会議（大阪府）

大阪都市魅力創造戦略

【世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力を創造・発信】

- ・御堂筋フェスティバル/リモデル化
- ・季節毎に連続したシンボリックイベントの開催
- ・質の高い賑わい空間の形成 等

大阪府都市魅力創造局・大阪府経済戦略局

御堂筋本町南地区地区計画・御堂筋デザインガイドライン

【大阪の伝統と革新がうみだす世界的ブランド・ストリート】

- ・落ち着きと高級感のある複合市街地の形成
- ・高級なにぎわいのあるまちなみの形成
- ・特別な時間を轴しむことができる落ち着きのある複合地区

大阪府都市計画局（平成26年1月10日決定）

■ 提案コンセプト

（御堂筋の将来像 提案コンセプト）

**車の道から人のみちへ
世界に誇るブランドストリートの実現**

世界に誇るブランドストリート MIDOSUJI 賑わい創造プラン

1. “みち”を創る

【創造的かつ魅力的な歩行者空間をつくる】

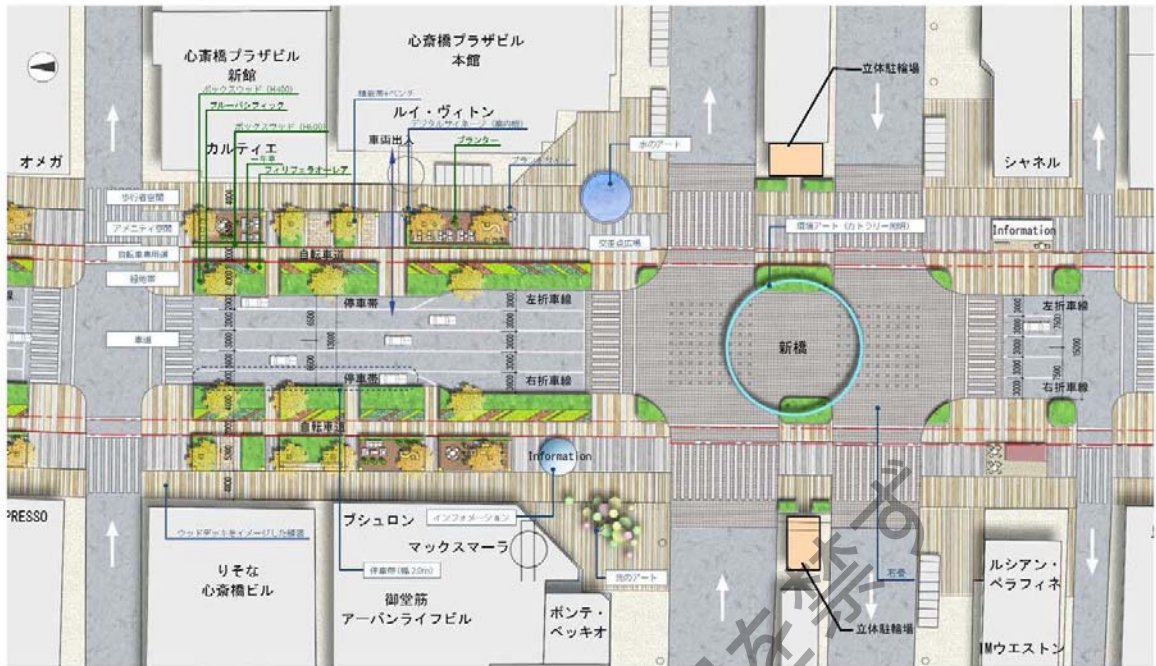
- 歩行者、自転車道の再整備（歩車分離、側道の新設）
- アメニティスペースの設置（オープンカフェ、憩い空間）
- アートによる空間演出（上質でラグジュアリーなアート）
- 緑地帯、緑の演出（緑で包みこまれた空間） 等

2. “みち”を育てる

【エリアマネジメントにより御堂筋の価値を高める】

- エリアマネジメント組織の立ち上げ
- 質の高い公共空間の管理・運営
- 新たな賑わいの創出
- ガイドラインの運用による空間整備の推進 等

車の道から人のみちへ、新たな価値の創造



歩行者空間 歩行者専用として、幅員4mの空間を確保し、歩道やデジタルサインボード（案内標）を配置し、上層で歩行者の視界が遮られるような空間を創出する。

アメニティ空間 オープンカフェを創出する。緑地や緑地帯と一体的に計画することにより、上層化アワード空間を演出する。

自転車専用道 既設の側道を剥し、自転車専用道とする。自転車は歩行者と分離し、歩行者専用としてだけでなく、四季を通じて、安全性を高める。

緑地帯 剥しする既設側道の一部を緑地帯に作り込み、歩行者と一体的な計画とすることで、四季を通じて、心地よい空間を演出する。

遊歩 上層化アワード空間を創出する。緑地帯（歩道）と一体的に計画することにより、歩行者の視界が遮られるような空間を創出する。

交差点広場 歩行者と一体的な計画とすることで、歩行者の視界が遮られるような空間を創出する。

アートの活用 水、光に目を惹いたアートを活用し、上層化空間に、さらなるインパクトを与え、日本のブランドストーリーに絡み合う空間を演出する。

美しい銀杏並木に包み込まれた、高級感のある歩行者空間

